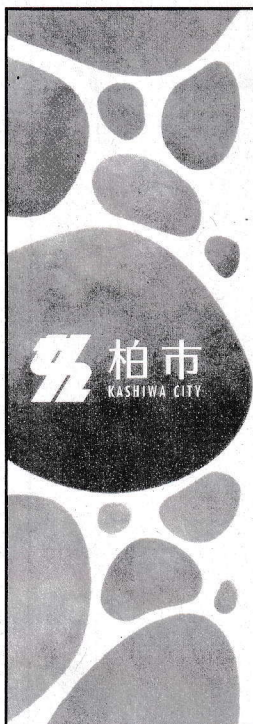




増尾地域内 18 町自治会との 意見交換会

令和 7 年 2 月 8 日
柏市危機管理部防災安全課



1 平時と災害時における 町会の役割について



震災編 第2章 予防計画（震-28）



- ・ 平時からの取組（予防計画）として
地震・風水害等の災害種別を問わず、左記に記載のあるとおり
- ・ 危険個所の把握
- ・ 防災資源の把握
- ・ 防災資機材の備蓄（組織活動で必要なもの）
- ・ 防災組織づくり
- ・ 要配慮者の把握と見守り
- ・ 避難所運営組織の結成
- ・ 防災講習会の実施
- ・ 防災訓練の実施



2

震災編 第2章 予防計画（震-29, 34, 35, 風-14）



- ・ 平時からの取組（予防計画）として

協力体制の確立のために	<ul style="list-style-type: none"> ■ 多様な地域住民や来街者を積極的に地域へ受け入れ、日ごろからコミュニケーションを密にとる。
地域住民を守るために	<ul style="list-style-type: none"> ■ 災害上の短所（危険な場所等）や長所（防災上有益なもの、有資格者等）を把握する。 ■ 要配慮者を把握し、日頃から見守りと交流を行う（「柏市防災福祉K-Net」に登録し、活動する。）。 ■ 学校、事業所、消防団等との協力体制を整える。
被災生活に備えるために	<ul style="list-style-type: none"> ■ 組織的活動で必要な資機材を用意しておく。 ■ 防災倉庫・給水所等の防災施設の情報を確認しておく。（柏市web版防災・ハザードマップ、防災ガイドブック、柏市地域別防災カルテ参照）
災害時に備えないために	<ul style="list-style-type: none"> ■ 避難場所、避難所を選定しておく。（指定緊急避難場所、指定避難所、一時的な空間地・ふるさとセンター等の活用） ■ 地域の災害リスクを確認し、地区別避難マップ等を作成しておく。（柏市web版防災・ハザードマップ、防災ガイドブック、柏市地域別防災カルテ参照） ■ 防災組織をつくり、活動する。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報収集伝達、消火、救出救護、避難誘導、給食給水 ・ 避難所の開設・運営の組織づくりへの協力 ・ 防災訓練の実施、防災チャランの回覧など、防災知識・技術の普及 ■ 地域防災リーダー講習会へ参加し、「防災推進員」として災害時に防災活動を行う上で必要な知識、経験並びに技能を学ぶとともに、地域内で知識を共有する。



3

震災編 第3章 応急対策計画（震-84, 99）



- ・災害時（応急対応計画）として
地震・風水害等の災害種別を問わず、左記に記載のあるとおり
- ・組織的な消火・救助活動
- ・被害・安否情報収集
- ・近隣センター（地区災害対策本部）への伝達
- ・掲示板への掲示
- ・指定避難所への誘導
- ・避難所開設協力
- ・避難所運営協力
- ・住宅被災者支援



2 自助・共助の備え ～私たちにできること～

自助・共助・公助の連携

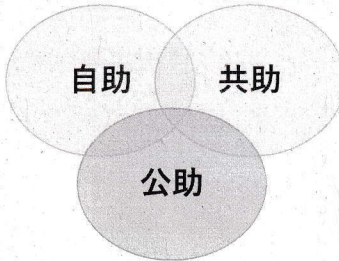


自助 …自分や家族の命と財産を守るために自身で備える。

共助 …地域社会の被害を減らすために地域が一丸となって助け合う。

公助 …行政が担う総合的な防災対策。

災害に強い社会は
3つの「助」が
互いに補い支え合う



3つの「助」が
最適に機能することが
被害を減らす



皆様ができることは



「減災」のための家族 会議をしましょう!

一番大切なことは、日頃の備えです。
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、
いざという時のために備えをしておきましょう。

食料や飲料水、薬、

防災訓練への参加

家族との連絡方法について

- 「災害用伝言板」
- 携帯電話の「災害用伝言板」

自分の住んでいる地域の震災時避難場所の確認
●家族全員で安全な経路を確認しながら、実際に歩こう

地域の防災訓練へ 参加しよう。

消防・警察・自衛隊は
すぐには助けに来てくれません。
いざという時の対策を!



皆様ができることは

「減災」のための家族 会議をしましょう！

一番大切なことは、日頃の備えです。
日頃から減災について考え、家族でよく話し合い、
いざというときのために備えをしておきましょう。

地域の避難場所を 確認しておこう。

災害時は避難場所まで
誰も誘導してくれません。

防災訓練への参加

家族との連絡方法について
●「災害用伝言ダイヤル171」
●携帯電話の「災害用伝言板」

自分の住んでいる地域の震
災時避難場所の確認
●家族全員で安全な経路を確認
しながら、実際に歩こう



8

3 柏市の防災体制 について





9


避難場所・避難所



■ 避難場所

指定緊急避難場所 **143箇所** (学校, 公園等) 
 広域避難場所 **4箇所** (日立台, 柏の葉, 中原, 大堀川) 

■ 避難所

指定避難所兼避難場所 **109箇所** 
 (学校・近隣センター等)

市内, どの避難所に避難しても構いません。
 (地域によっては事前に避難所を目安として定めている場合もあります)



10

避難場所・避難所



■ 避難所の開設基準

震災

- ・震度5強以上を観測した場合
- ・災害の状況により避難が必要な場合

風水害

- < 自主避難所 >
- ・台風の暴風域が24時間以内にかかると予想されるとき
 - ・強風注意報が発表され警報に切り替える可能性が高いとき等
 →基本的に市内20近隣センターを開設する
- < 指定避難所 >
- ・避難情報の発令又は警戒区域の設定を実施した場合
 - ・災害の状況により避難が必要な場合等



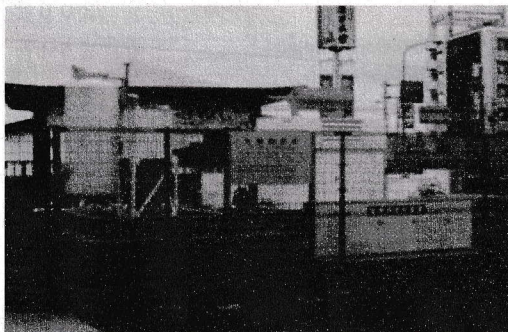
11

給水体制



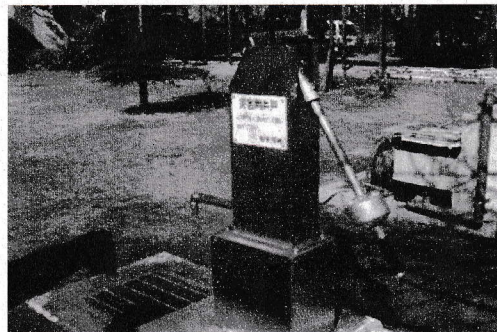
■ 飲料水

耐震性井戸付き貯水装置
17箇所
耐震性貯水槽
8箇所



■ 生活用水

災害用簡易井戸（手押し式）
23箇所



12

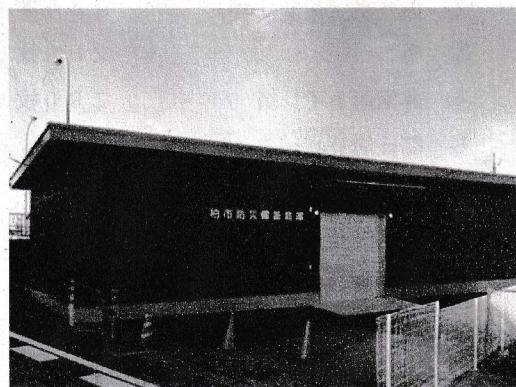
防災備蓄体制



■ 防災備蓄倉庫

公共施設
小中学校
その他公園など
計 43箇所
⇒ 21コミュニティエリア単位に整備

市で備蓄する物資を分散して配置。
発災時は各避難所等に必要に応じて
供給。



13

防災備蓄体制



■ 備蓄物資

令和6年3月現在

種別	品目	目標数	実績数
食糧	保存食	400,000食 (発災から3日後までの避難者に必要な数)	348,897食
飲料水	保存水 (500ml)	20,000本 (避難所×200本)	31,800本
	毛布	40,000枚 (発災から3日後までの避難所避難者に必要な数)	38,327枚
	仮設トイレ	300台 (避難所×3台)	300台
	簡易トイレ	1,300台 (避難所×13台)	2,594台
	非常用トイレ袋	433,179枚 (発災から3日後までの避難者に必要な数)	433,214枚
資機材	発電機	200台 (避難所×2台)	318台
	投光器	100台 (避難所×1台)	156台
	簡易更衣室	200台 (避難所×2台)	209台
	間仕切り	3,000組 (避難所×30組)	4,555個
	生理用品	145,842枚 (発災から3日後までの避難所避難者に必要な数)	123,440枚



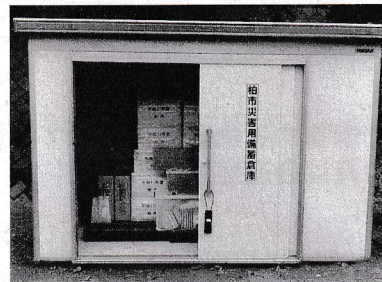
14

防災備蓄体制



■ 各避難所備蓄物資

品目	備蓄数	品目	備蓄数
① 保存食	200食	⑪ ソーラーパネル付き発電機	4台
② 保存水 (500ml)	264本	⑫ ヘルメット	2個
③ 毛布	200枚	⑬ 授乳ケープ	2個
④ 非常用トイレ袋	200枚	⑭ 避難所運営グッズ	1セット
⑤ 間仕切りパーティション	20張		
⑥ パーティション用屋根	10張		
⑦ 多目的ベッド	20台		
⑧ 発電機	1台		
⑨ 投光器	1台		
⑩ ガソリン携行缶	1個		



15

防災備蓄体制



おかゆ



ビスケット



パン

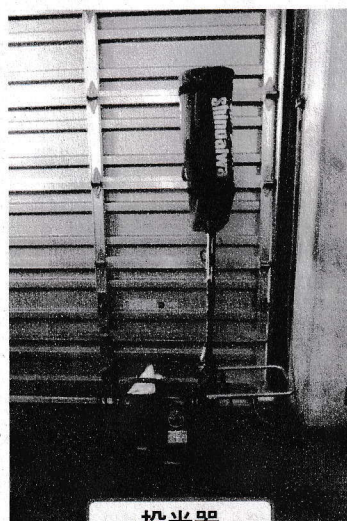


保存水



16

防災備蓄体制



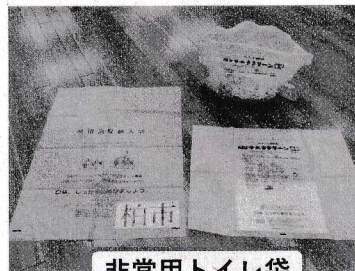
投光器



発電機



毛布

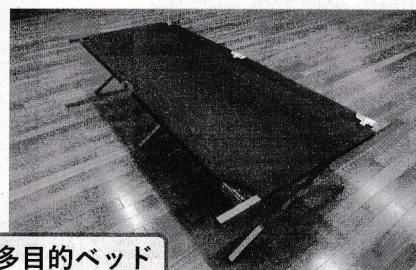


非常用トイレ袋



17

防災備蓄体制



柏市
KASHIMA CITY

18

防災備蓄体制



■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

① 両サイドマジック(黒)	2本	⑨ 画鋏	1箱	⑰ タオル	20枚
② 両サイドマジック(赤)	2本	⑩ ラジオ(手回し充電)	1台	⑱ 簡易バケツ	2個
③ 事務用鉛筆	1ダース	⑪ コップろうそく	10個	⑲ タップ	1個
④ 鉛筆削り	1台	⑫ 簡易ライト	3本×5 セット	⑳ 避難所開設・運営 マニュアル及び様式	
⑤ セロハンテープ	2個	⑬ ポリ袋(90L)	10枚×3袋	㉑ 搬入物内訳書	1枚
⑥ 布粘着テープ	10巻	⑭ ソーラー電池式ランタン	2個	㉒ 蓋付き透明コンテナ	1箱
⑦ 事務用ハサミ	2個	⑮ マグネットシート	1枚	㉓ 携帯充電用マルチコ ネクター	1個
⑧ PPC用紙(A4)	1冊	⑯ メガホン	3本	㉔ ゲルチョコーク	2本

柏市
KASHIMA CITY

19

防災備蓄体制



柏市
KASHIWA CITY



20

防災備蓄体制

■ 各避難所備蓄物資

避難所運営(初動対応)グッズの内容

②⑤	マスク	100枚	③①	ハンドソープ(250ml)	4本
②⑥	手指消毒液(500ml)	4本	③②	次亜塩素酸消毒液(600ml)	1本
②⑦	非接触型温度計	2本	③③	ペーパータオル(200枚)	20個
②⑧	接触型体温計	1本	③④	使い捨て手袋(100枚)	9箱
②⑨	フェイスシールド	45枚	③⑤	透明ビニールシート(1m)	5枚
③⑩	除菌シート(25枚)	100個			

柏市
KASHIWA CITY



21

防災備蓄体制



柏市
KASHIMA CITY



22

ペット避難

■ 「ペット避難受入れに関するガイドライン」の策定

柏市では、過去の大規模災害時に、ペットとの避難を躊躇したことで被災した飼い主もいたことから、ペット受入れ体制の強化を図っています。そのため、避難所におけるペット受入れに関する取組みが平常時から円滑に進められるよう「ペット避難受入れに関するガイドライン」を策定し、令和5年9月1日より運用を開始しました。

■ 屋内避難

ペットの飼育スペースを避難所の屋内に設置すること。
※飼い主とペットが同室で避難生活を送ることを意味するものではありません。

■ ペットの定義

犬や猫、ハムスターや小鳥などの「小型の哺乳類及び鳥類」

■ 東葛地域獣医師会との協定締結

市内で大規模災害が発生した際に、専門的な立場から被災動物の救護活動に対する協力を受けるために、令和5年9月30日に締結。



柏市
KASHIMA CITY

23